

10502金属製家具製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	13~14	折りたたみ用椅子の生産現場で、パイプをU字に曲げる機械の曲げ角度調整中、セレクトスイッチで自動から手動に切り替え、押しボタンにてプレスを下降させたところ、上型と下型の間に左手を置いていたため、左手人差し指を挟まれ、第一関節部より先が押し潰されて分離したため、縫合した。	56	7	154	50 ～ 99
2	2017	9	9~10	塗装ラインで塗装ブース壁の塗料カス除去を脚立に乗って作業していた所、脚立を動かさず身を乗り出して隣壁のカスを除去しようとした為、脚立のバランスを崩して転倒した。床面より約1.5mの高さより落下した、救急外来で受診した所、眼球付近の骨折と腰の骨折が有り、経過観察の為、入院となった。	21	1	371	50 ～ 99
3	2017	7	10~11	素材課において鑄造機に段替えで交換した金型に不具合を発見したため、すぐに金型整備場に戻し、金型を分解しようと作業を開始した。天板と1枚目の中板をはずしワイヤで吊った状態で2枚目の中板をはずそうとハンマーでたたいてもはずれないため、下からたたいていたところ、突然中板がはずれ右手の甲に落下し負傷した。	56	4	364	50 ～ 99
4	2017	6	11~12	工場構内設置のコンテナ倉庫内の在庫調査のため、コンテナ扉を開け、高さ約1.3mのコンテナ床面までよじ登ろうとした時、手を滑らせて頭部より地面へ落下したため、頭部を打撲し、一部を裂傷した。（擦り傷の酷いものであり、縫ってはいない。）頭部より落下したため、意識は正常だったが救急搬送し、CTス	40	1	221	100 ～ 299

				キャンの結果は異常なしであった。				
5	2017	2	15~16	当事者はプレス機械でセンター引出の曲げ加工作業を行っていた。その後方では他の作業者が台車に鉄板シートの積み替えを行っていたが、積んでいるシートの安定が悪く、滑り落ちそうになったので他の作業者がシートを支えに行った時に台車が動き、動いた台車がプレス作業当事者の右足後部分に接触した。不意のことに驚き、力んだ際に腰を痛めた。	33	19	921	300 ~ 499
6	2016	12	15~16	工場内でスポットの溶接作業をしていたところ、スポット機のチップが材料を押さえていた左拇指の爪に当たり、負傷した。	18	7	339	100 ~ 299
7	2016	12	16~17	金属加工中、プレス機にて鉄板の加工時に、誤ってワーク内に手が入ってしまい、右手人差し指をつぶしてしまった。	36	7	154	10 ~ 29
8	2016	9	11~12	デスクのセンター引き出し用底板1枚の寸法測定を定盤の上で行った。測定後に底板を持ち、自職場に戻ろうとして、体の向きを急に変えた時、腰に痛みが生じた。	42	19	921	100 ~ 299
9	2016	9	14~15	塗装作業中、塗装色替えの空き時間を利用して片付け作業を行っていた時、前工程上段吊り場の作業台脇に外してあった棚板を、被災者が1枚目を左手で掴み保持し、さらに2枚目を右手で取りに行った際、左手で保持していた棚板が手元から滑ってしまい、左手親指を挫傷。	35	8	521	30 ~ 49
10	2016	4	8~9	プレス工場内にて、ロッカーの部材である薄板鋼板を台車式リフターに積み運搬する作業において、鋼板とリフターの間挟んでいる「りん木」の位置を調整するためにハンマーで「りん木」の片側を叩き、続いてもう一方を叩いていたとき、「りん木」が思わぬ方向にずれ、バランスが崩れリフター上の鋼板が左足に落ち骨折した。	58	4	362	50 ~ 99

11	2016	1	17～ 18	走行中、本人の前方の車輛が、その前の車輛に追突し急停車した為、後方にいた本人は急ブレーキを踏んだが、止まりきれず追突した。	36	17	231	10 ～ 29
12	2015	11	16～ 17	プレス型の段取作業中に、鋼板を載せた台車の上にプレス型を載せようとして台車を動かした際に台車が傾き、台車の上に載せていた鋼板が右足の上に落下し、骨折した。	27	4	521	100 ～ 299
13	2015	9	18～ 19	機械設備（鉄コイルカット機）より異音が発生した為、設備を停止し電源を切り安全カバーを取り外し、モーター内点検・修繕を実施し再度電源を入れ回復を確認したので、再び電源を切り、安全カバーを取り付けた処、モーター内のベルトが停止しきれておらず左手中指が手袋ごとベルト内に巻き込まれ、負傷した。	52	7	159	100 ～ 299
14	2015	6	14～ 15	部材を載せた台車を3人で移動させていた際、台車を所定の位置にとめるため微調整で被災者の方へ引くようにバックしたところ、台車の車輪が右足に乗り上げ負傷した。	21	7	362	10 ～ 29
15	2015	4	8～9	加工する吊物を用いて確認しながら、数枚をタメシヌキ上りぐあい見ながら（動作）体を動かしながらしていたペダルに足が触れて、機械が作動してしまい指を挟まれてしまった。	73	7	159	1～ 9
16	2014	12	15～ 16	構内の倉庫前にて、プラッターで二段積みされた網パレットを持ち上げた瞬間に片荷のため斜めに傾き慌てて支えようとしたが荷が重すぎて支えきれず網パレットが転倒、下半身が下敷きになり負傷した。	39	7	611	10 ～ 29
17	2014	12	13～ 14	第一工場加工係曲げ工程において、二段積材料台車を180度回転させるために、右手で台車を持ち左手で材料パレットを持って一気に引いた時、曲げ設備手前の棚と台車が接触し、材料だけが回転し崩れてきて材料に左足が挟まり負傷した。	66	4	362	100 ～ 299
18	2014	12	11～ 12	商品梱包用段ボールに品番シール貼り作業をしていた所、中腰状態から立ち上がり振り向いたところ、足元にあった坂パレットに左足をとられ転倒し、右脇腹を強打し負傷する。	51	2	379	100 ～ 299

19	2014	12	11～ 12	工場内で、ボール盤で鉄板に穴あけ作業中、工作物を両手で押されていた時に切粉が回転しながら指に巻き付き負傷した。	33	7	152	10 ～ 29
20	2014	12	15～ 16	工場内の収納行程現場で部品を運搬しながら振り向いた時、自動運搬中スチール製品の角に右前頭部をぶつけ、裂傷を負った。	47	3	521	100 ～ 299
21	2014	10	15～ 16	リフトアップした自動車よりタイヤを取り外す作業をしていたところ、顔付近の高さより誤ってタイヤが落下し右足にあたった。	27	4	169	10 ～ 29
22	2014	10	9～ 10	工場内で0.5mm厚さ、直径30mm、長さ250mmのステンレス蝶番の押し仕上げ中に、蝶番を型に乗せたと同時に足踏みスイッチを踏んでしまい、右手の人差し指、右端の一部と中指と薬指の先端の一部を上型で挟んでしまった。プレス機が古くセンサーが取り付けられていなかったことが原因と思われる	26	7	154	10 ～ 29
23	2014	10	14～ 15	工場内においてNCフライス盤を使用して材料の下降作業中、誤って材料を挟むクランプに右手が挟まれ、右手第一指を負傷した。	18	7	153	10 ～ 29
24	2014	4	11～ 12	タッパー（穴明け機）レバーを押し込んだ際に、タッパーが上昇したので電源オフにしようとしてタッパー横のスイッチに手を伸ばしたところ着用していた手袋をタップ切回転物に巻き込まれ人差し指を負傷した。	24	7	152	300 ～ 499
25	2014	4	9～ 10	工場内にてボール盤でパイプの穴あけ作業中に何らかの拍子にバランスを崩し、そのはずみで軍手が回転中のドリルに巻き込まれ右手人差し指を骨折した。	22	7	152	30 ～ 49
26	2014	2	9～ 10	加工後の金属製部品を収納棚へ下から上に積み上げ作業の際、自らの背丈と同程度の高さまで積み上げようと、部品を持ち上げたまま身体を横に捻ったとき、左肩が脱臼した。	50	19	611	100 ～ 299

27	2014	1	20～ 21	工場内でパネルにクロスを貼る作業中に、クロスを押さえるため左腕を捻りながら腕を伸ばしたところ、左肩を脱臼する。	32	19	529	30 ～ 49
28	2014	1	13～ 14	25cmほどの高さの段差から降りる際、バランスを崩し転倒し、左足を捻挫した。	33	2	413	50 ～ 99
29	2013	12	14～ 15	プレス機械の金型を交換する作業中、金型を手で滑らせ、リフターへ移動させようとした際、上型と下型が密着しておらず、隙間が空いていたため、隙間を手で持った際、隙間に指が入り、金型が下がり、指を挟み、切創を負った。	50	7	154	50 ～ 99
30	2013	12	13～ 14	部材をフックに掛ける作業中、背部を痛めた。	34	19	521	100 ～ 299
31	2013	7	16～ 17	4tトラックの荷台から降りる際、膝がトラック荷台のあおりに引掛かり、落下。骨盤骨折した。	42	2	221	30 ～ 49
32	2013	3	18～ 19	塗装ガンによる吹きつけ塗装作業中、テーブルリフターに乗り、作業していたところ、誤って落下した。	45	1	214	100 ～ 299
33	2013	2	16～ 17	組立作業場にて、商品の入ったダンボール箱を抱え運んでいたところ、通路に置いてあった商品に足を滑らせ、転倒。足首を負傷した。	69	2	417	10 ～ 29
34	2013	2	8～9	事務所前に置いてあるタイムレコーダーにIDカードを通そうとした際、積雪により滑り、転倒。手首を負傷した。	58	2	417	100 ～ 299
35	2013	2	7～8	トラックから積荷を降ろす作業中、トラックの荷台から地面へ降りた際、地面で足を滑らせ、後方へ転倒。手をつき、肩を負傷し	63	2	417	1～ 9

				た。				
36	2013	1	17~ 18	会社工場内にて、サッシ用アルミ材（60mm×200mm、長さ約3m、重さ約10kg）のビス穴加工作業中、加工したアルミ材を資材置に立てかけようと縦に持ち替えた瞬間、バランスを崩して後方へ転倒。尻もちをついた際、腰を圧迫骨折した。	62	2	521	10 ~ 29
37	2012	10	8~9	工場で棚に荷物を上げていた際、脚立に乗っていてバランスを崩し、落下し、腰を強打した。	71	1	371	1~ 9
38	2012	7	9~ 10	塗装工程吊り込み場にて、高所でのハンガー替え作業をした際、保護具を着用せず、作業し、足を踏み外し、落下した。	38	1	418	30 ~ 49
39	2011	10	13~ 14	塗装現場において、社員と2人でパレットから製品（ロッカー）を取り、ハンガーへ掛ける作業中、空パレットを横へずらしハンガーの位置に帰る際、手間取り、パレット上を小走りに歩いたため左足がパレットのすき間に引っかかり、体勢を立て直そうとして踏ん張った右足をひねった。	35	19	379	100 ~ 299
40	2011	5	9~ 10	プレス作業中、金型を微調整する作業中（本来作業者は1人作業することになっている。）が、たまたま当時、他の人に作業方法を実地指導中であらかたの作業の説明が終わり、指導終了直前に他の人はすべて完了したと勘違いしプレスのフットペダルを踏んでしまった。被災者はとっさに手を引き出そうとしたがわずかに間に合わず左手の指と掌をはさまれ事故に至った。	61	7	154	10 ~ 29
41	2011	3	15~ 16	汎用加工場において、ボール盤を使って「作業台脚クレーム角パイプ」バーリング穴のタップを立てる作業で左手で角パイプを持ち右手でボール盤の上下レバーを持って加工、片面2ヶ所にタップ加工をした後、角パイプをとんぼ返りさせ、もう片面の2ヶ所にタップ加工していた。タップ立て作業中に切粉がタップにからまってしまい、それを除去しようとして軍手をしている右手で払おうとした時にタップに軍手が巻き込まれ、右手中指を関	38	7	134	50 ~ 99

				節開放性脱臼する災害となった。				
42	2010	12	19～ 20	パネル接着作業場にて、被災者は接着場所を離れ、パネル取り上げ場所へ移動した。その際、足を滑らし、バランスを崩した拍子にベルトコンベア駆動チェーン部分に手をついてしまい、手袋が巻き込まれ負傷した。	44	7	224	50 ～ 99
43	2010	12	9～ 10	工場内にて作業中、縦引昇降盤で、ベニヤを切っていた時、誤って、右手親指の先端を切ってしまった。	26	8	131	10 ～ 29
44	2010	11	18～ 19	工場内作業場にて鋼製ドアを溶接組立作業中に台に置いた半自動溶接トーチが台から滑り落ちて左足ふくらはぎ部に溶接ワイヤーがささった。当日は大したことはないと思い通院しなかったが、症状が悪化してきたため、11月8日に通院。	49	4	332	1～ 9
45	2010	9	10～ 11	天板組付ラインのアルミエッジヘッダーでアルミエッジの切欠き、曲げ作業をしている時、詰まったアルミ片を取り除こうとして指を入れた。安全カバーが取りはずしてあり、終了スイッチを押してすぐ指を入れた為、作動しているパンチ部にはさまれ指を切断した。	40	7	159	50 ～ 99
46	2010	3	21～ 22	工場内のアルミ型材保管場所で収納ラック（5段積）を整理する為、フォークリフトにて移動する作業をしている際、先に移動配置していた5段積ラックが邪魔となったので、リフトの爪を高く持ち上げてこさせようとした所、建産天井の梁にラック上部が引っ掛かり、5段積ラックの上3段が落下したので咄嗟に逃げようとリフトから飛び降りた所に、アルミ型材が崩れてきて、腰から下の両足がアルミ型材の下敷になり負傷する。	37	4	521	30 ～ 49
47	2010	3	11～ 12	ボール盤でイス部分の穴明け作業中、ドリルに切くずがついていたため、スイッチを切らずドリルが回転していたままブラシで切りくずをとりに行ったところ、ブラシがドリルに巻き込まれ、さらにはめていた軍手も巻き込まれて右手中指、薬指、小指をドリ	68	7	152	50 ～ 99

				ルで裂傷してしまった。				
48	2010	2	8～9	敷地内のゴミ捨て場にゴミを捨てに行き、ゴミ捨て場から帰る際、たまたま敷地内の境界線である縁石に乗ったら足を滑らせ水路に落ち左肘と前頭部を水路のコンクリートにぶつけてしまった。	54	1	417	50 ～ 99
49	2009	6	9～10	椅子に座って、左手で製品を電極に載せ、右手で製品の上にナットを載せ、次にフットスイッチ（足踏み式）に足を入れて溶接するタイプの溶接装置で作業をしていた。右手でナットを載せた時、フットスイッチに足を載せたままになっていて、誤ってスイッチを踏んだため、指を挟んだ。	26	7	339	50 ～ 99
50	2009	3	10～11	モールドウレタン製作作業中、発泡用型の蓋を開こうとして、蓋と台車の間に右手指を挟まれた。	27	7	391	30 ～ 49
51	2009	1	12～13	休憩時間中、飲み物を買に行こうとしたところ、通路前方をフォークリフトが通行していたので、それを避け近道をするため、ラインを乗り越え、右足をシャフトの上に着き横断しようとしたところ、稼働中の搬送シャトルに右足を挟まれ、骨折した。	51	7	391	100 ～ 299
52	2008	9	14～15	部品のプレス作業中、部品に添えていた左手をプレス型の上に乗せた状態でプレス機を起動させたため、プレス型と部品の間で左手指を挟まれ受傷したもの。	26	7	154	100 ～ 299
53	2008	6	9～10	階段材料を製作中、作業台の机の下（台の足）に右足が当たり、躓き転倒した。その際、壁の側に置いていた製品（階段の踏み板を重ねていた）の角に右腕を強打し、負傷したもの。	60	3	391	10 ～ 29
54	2008	3	15～16	工場内のロボット用ツールのクランパーをセットする為、生産済みのクランパーをハンガーに収納したところ、建屋の鉄骨部に引っ掛けてあったクランパーが落下し、被災者の保護帽に当り衝撃で負傷した。	31	4	521	500 ～ 999

55	2008	2	10～ 11	作業場内を移動（歩行）中、少しよそ見をした際、足元にあったストーブのコードに躓き、転倒し床（コンクリート）に左足の膝を打ち受傷。午前中に負傷したが、その日は勤務終了まで痛みをこらえながら作業し、退社後帰宅前に受診した。	50	2	391	10 ～ 29
56	2008	2	9～ 10	曲げ加工のセット中、誤って作動させた為プレス型の型が下りてきて、左手指を負傷した。（30tプレス、両手操作式、フットペダル式、ピンクラッチプレス）	60	7	154	10 ～ 29
57	2008	1	15～ 16	当社工場で、椅子のパイプ溶接機で溶接作業をしている時に、パイプと押さえ治具（エアシリンダー）との間に約10mmの隙間があり、そこに手を入れたまま、シリンダー起動ボタンを押したため、左手の指を挟まれた。	48	7	379	50 ～ 99
58	2007	12	19～ 20	事務機の天板生産ラインの化粧板張り合せ工程で作業中に、化粧板搬送コンベアの駆動チェーンの sprocket に指を巻き込まれ、指を負傷した。	29	7	224	100 ～ 299
59	2007	11	17～ 18	高所にあるダクトフィルターを2m高程度の脚立を使って清掃中、バランスを崩して足を踏み外し床に落下。手が床に当たって負傷した。	36	1	371	300 ～ 499
60	2007	11	9～ 10	塗装工場内において、トロリーコンベアー駆動部に皮手袋着用でグリスアップした際、駆動部歯車とチェーンに皮手袋が巻き込まれて、指を挟み負傷した。	37	7	224	300 ～ 499
61	2007	10	8～9	ウレタン原液注入調整弁のリング交換作業の際、8箇所ある原液注入バルブのうち、1箇所を締め忘れ、交換後締め込みの際の圧力により原液が噴射し、顔面に浴びて被災した。	34	12	514	100 ～ 299
62	2007	9	8～9	工場防錆塗装処理所において、作業前段取りで、前日塗装のスチールパネルをハンガー吊りの状態のまま在庫場へ移動中、上部ハンガーレールの未接続を確認せずレール上を走らせたため、吊り車がレールから外れ、落下を止めようとパネルを押さえた時に、指を負傷した。	62	4	521	10 ～ 29

63	2007	9	11~ 12	工場にて検査台の高さ30cmのアンゲル材に足を置き、高さ60cmのアンゲル材に電動ドリルで穴明け作業中、不自然な姿勢になり足を負傷した。	33	19	921	不明
64	2007	8	16~ 17	工場内の手押しカンナ器で、材料(約1500×800×30)の上部に右手、左脇に左手を添えて削っていた時、安全器の戻りが弱くなっていた事もあり、手が滑り、その際にカンナ器の刃に指が接触し負傷した。	37	8	133	1~ 9
65	2007	6	11~ 12	製造工程(塗装工程)にて、折りたたみ椅子を専用ハンガーから取出し中、折りたたみ椅子の背の鋼板部分が滑り落ち手に当たったため、負傷した。	60	8	521	50 ~ 99
66	2007	4	11~ 12	塗装ライン製品吊し場で、コンベアーレール(高所3m)に給油口を設けるため、不安定な脚立にのり、ディスクサンダーで研削作業を行っていた。研削作業中、サンダーの刃がレールに食い込み、動力に手が負け手から離れ、サンダーの刃先が手に当たり、負傷した。	55	8	159	100 ~ 299
67	2007	1	11~ 12	組立工場3Fベッドライン梱包積載工程にて、完成品ベッドをパレット積載作業後に、搬送リフターの操作スイッチを押した後、体を反転して梱包工程に移動しようとしたところ、ラインアウトして補修したベッドが足元にあり、それにつまづき前方へ転倒し、その際、体をかばおうとして床に手をつき負傷した。	43	2	417	100 ~ 299
68	2007	1	14~ 15	脚切場で積んであったパレット(高さ2m位)のシートをはがそうとパレットに乗り、作業していた際、シートを引き過ぎてバランスを崩して落下し、足を負傷した。	38	1	379	30 ~ 49
69	2006	11	10~ 11	鉄屑回収箱でプレス抜きカスを回収箱へ落とす作業中に、フォークで揺すっても落下しない一部のスクラップを手で落そうとして、左手で内側から扉を揺さぶったが、それでも落ちず、右手で扉を開け支えた状態にし、左手でスクラップをかきだそうとし	37	7	379	100 ~ 299

				た。その時、体勢が崩れ、支えていた扉が落下し、はさまれて負傷した。				
70	2006	11	16～ 17	工場内で幅76cmのコルク材2本（約1.4t）に身体を挟まれ、負傷した。	56	7	521	30 ～ 49
71	2006	10	8～9	ロッカー用のスチール板（1m×50cm）を組立作業のために待っていたところ、誤って体の一部を負傷した。	45	8	521	30 ～ 49
72	2006	9	14～ 15	工場内でフォークリフトから降りようと、着地した際に負傷した。	57	19	921	100 ～ 299
73	2006	9	18～ 19	80tブレーキプレス機で作業中に、分割ヤゲンの一部がずり落ちるのを発見し、思わず手で受けようとして、ヤゲンとヤゲン台の間に挟まれ負傷した。	37	7	154	100 ～ 299
74	2006	8	16～ 17	鋼板（0.6～0.8mm）の切断作業でシャーリング近くの壁に立てかけてあった鉄板十数枚の内より材料を抜き取ろうとした時、その材料が手前に倒れてきたので逃げたが逃げきれずに足に当たり負傷した。	35	5	521	10 ～ 29
75	2006	5	3～4	当作業場で、枠の溝を付けるため昇降盤で作業中、木材が滑り誤って負傷した。	38	8	131	1～ 9
76	2006	3	18～ 19	工場にて、倉庫にあるパレティーナの内容部材を確認するため、3段積パレティーナの2段目（高さ1.7m）に乗って確認していたところ、雨で靴底がぬれていたため、すべって足1本で着地したため負荷がかかり負傷した。	54	1	611	50 ～ 99
77	2006	3	13～ 14	塗装乾燥炉出口にて、ハンガーに吊られていた物の向きを変える際、踏み台に乗って作業を行おうとしたところ、重心が高くなり、バランスを崩し、フェンスを越え、約2.5m下に転落し負	58	1	371	100 ～ 299

				傷した。				
78	2006	3	8～9	工場前で不用物を焼却処分中、ドラム缶の中にスプレー缶が捨てられていたようで、それに引火、爆発側にいた被災者がガスをかぶり負傷した。	40	15	512	10～29
79	2006	3	14～15	本社工場内で、昇降盤（丸ノコ）で、木材（長さ2m×幅10cm×厚35mm）を切断中、切断が最後に近づいた時、両手で押さえていたうちの手が滑って、手袋の上から丸ノコの刃に接触し負傷した。	66	8	131	1～9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。